

事業計画書

1. 申請する法人について										
法人名		特定非営利活動法人 霜里学校								
法人の設立登記日		2012	年	7	月	20 日				
法人設立前の団体の設立日			年		月	日 ※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する				
ホームページ・SNS	ホームページ	https://shimozato.jp/			Facebook	https://www.facebook.com/shimozato.organic/				
	X (旧Twitter)	https://x.com/bunkou117			YouTube					
	Instagram	https://www.instagram.com/musubime_ogawa_shimozatogakkou/			その他					
活動歴・これまでの活動実績 <各活動90字以内>	活動①	小川町における里山の廃校「小川小学校旧下里分校」の管理を行い、年間での野菜塾講座や貸菜園事業、ロケ事業、カフェ事業を実施し、年間1万人を超える来場者を生み出す廃校活用を実現している								
	活動②	賛助会員のトライアル会員制度を期間限定にて実施。モデル地となったアニメファン層、農ある暮らしに興味関心のある層を「賛助会員」へと繋げ、廃校維持管理の持続的な体制づくりに着手								
	活動③	小川町観光案内所運営業務を小川町観光協会より受託し、里山/文化等の地元資源を観光客に対して紹介。年間27,000人を超える観光客対応を行っている。								
	活動④	小川町移住サポートセンター事業を小川町より受託し、埼玉県移住相談件数3年連続1位、町への転入超過実現等へ寄与								
	活動⑤	上記各取組みをメディア上において積極的に発信し、「里山暮らし」「移住」「農ある暮らし」「アニメ聖地活用」等のテーマで新聞等の記事として掲載実績多数実現。								
助成金等の交付実績 ※ 2023年4月～2026年3月に交付された助成金等を記載 ※ 5件以上ある場合は、直近のものから5件を記載	助成金等名称		交付者		交付年月		交付額			
	助成金等①	IT導入補助金 デジタル化基盤導入枠	経済産業省		2023	年	12	月	2,000,000	円
	助成金等②	令和6年度埼玉県NPO活動促進助成事業	埼玉県		2024	年	5	月	500,000	円
	助成金等③	令和7年度埼玉県NPO活動促進助成事業	埼玉県		2025	年	6	月	496,000	円
	助成金等④					年		月		円
	助成金等⑤					年		月		円
申請する事業に従事する社員	氏名			役割						
	社員①	西沙耶香		里山文化暮らし体験プログラム 企画ディレクター及び一部イベント講師						
	社員②	北澤理沙		アニメ文化体験プログラム 企画ディレクター						
	社員③	野口理美		下里秋祭り 企画ディレクター						
	社員④	小高貴寿奈		会員管理人件費						
	社員⑤									
	その他従事社員数			人						
	従事社員総数	4		人						

2. 申請する事業について

事業名	廃校を拠点とした「自走運営」モデルの構築と関係人口の資産化事業	事業区分	ステップアップ支援事業	事業分野	魅力あふれる地域づくり
事業対象	首都圏在住の精神的充足を求める層及びアニメファン層	対象地域	小川町	事業実施期間	2026/7/1 ~ 2027/2/28

解決したい地域課題及びその現状<300字程度>

本事業が対象とする小川町下里地区は、豊かな里山環境を有するが、少子高齢化に伴い廃校となった旧下里分校の維持管理が大きな課題となっている。現状、当法人は地域課題解決のプラットフォームとして、移住相談、観光案内、農家支援など多岐にわたる地域ニーズを網羅的に受け止めているが、その多くがボランティア精神や限定的な受託事業に依存しており、収益構造が極めて不安定な状態にある。この「善意に頼った管理体制」は、固定費負担に対して事業利益が低く、持続可能性に欠ける。その結果、本来必要な施設修繕や環境整備への再投資が困難となり、里山という地域の貴重な資産を維持できず、結果として地域の活力を毀損させるリスクを抱えている。

上記の地域課題の解決に向けた事業の概要<300字程度>

本事業では、廃校を「守るべき対象」から「価値を生む資産」へと再定義し、外部資金に頼らず自立して里山を維持する「自律運営」モデルの構築を目指す。具体的には、①里山文化体験やアニメ文化等の多様なプログラムを月1回実施し、ターゲット別の新規来場者を創出。②Google Ad Grantsを戦略的に運用し、精神的充足を求める都市住民へ情報を直接届ける。③これらを通じて得た一過性の交流を「賛助会員(廃校共同管理者)」という継続的な支援関係へ昇華させ、関係人口を資産化する。これにより、自らの事業収益で施設管理や環境保全を担う「プロフェッショナルな管理体制」を確立し、里山文化を次世代へ継承する強固な運営主体への転換を図る。

事業効果(※事業の効果はどのように県内広域に及ぶか、単一市町村内で行う事業の場合は、事業の効果が他の地域にどのように裨益するのか具体的に記載)<300字程度>

本事業は、小川町下里地区という単一地域をフィールドとするが、その成果は「廃校活用と地域経済自立の成功モデル」として、同様の課題を抱える埼玉県内の他自治体へ広く裨益する。具体的には、アニメ文化等のサブカルチャーと伝統的な里山体験を融合させた独自の集客手法、およびGoogle Ad Grantsを活用したデジタルマーケティングによる「関係人口の資産化」の仕組みを作り、報告会等で共有する。これにより、県内各地で維持管理に苦慮している「廃校管理活動」や、その他自立性の確立を模索するNPOに対し、実践的な知見を提供できる。一過性のイベントに留まらない「経済自立型」の運営手法は、県内の地域活性化活動の新たなスタンダードとなり得る。

事業の発展性(これまでの取組を踏まえ、事業の自立的な運営や効果的な実施に向けてどのような工夫・改善を行うか具体的に記載)<300字程度>

これまでの当法人は、地域課題解決を優先するあまり「労働集約型の便利屋」的側面が強く、収益確保に課題があった。本事業では、この経験を反省材料とし、事業を「賛助会員(廃校管理支援者)獲得」という一点に集中させる経営改善を行う。具体的には、従来の「集客して終わり」のイベント運営から脱却し、参加者をデジタル技術(顧客管理やデジタル広告等)を用いて継続的な支援者へと誘導する「ファン・マーケティング」を組織的に導入する。助成期間中に、広告運用による獲得単価の検証と会員基盤の構築を完了させることで、助成終了後は会員費を原資とした自立的な運営体制へと移行する。これにより、「善意」ではなく「仕組み」で里山を守る持続可能な組織へと発展させる。

事業の先駆性・モデル性(※事業の手法など他団体の取組のモデルとなり得るポイントを記載)<300字程度>

本事業の先駆性は、伝統的な「里山保全」に「アニメ文化(サブカルチャー)」と「最先端のデジタルマーケティング」を融合させた点にある。具体的には、農ある暮らし等に興味関心のある首都圏在住者及びアニメ作品ファンに対し、それぞれのニーズに合致した精神的充足の実現場としての廃校という場の提供と、Google Ad Grants(検索広告支援)を用いた広域的な情報発信を組み合わせる。これにより、従来の地縁組織ではリーチできなかった都市部の関係人口候補者に効率的に情報発信を行い、「精神的充足」を対価とした新たな寄付モデル(賛助会員化)を構築する。「ファン・マーケティング」を活用した手法は、人手不足と資金難に悩む廃校・里山管理団体にとって、持続可能な運営の画期的なモデルとなり得る。

対象地域や事業規模の拡大(※ステップアップ支援事業のみ、これまでの事業から具体的にどのように拡大させるのか具体的に記載)<300字程度>

これまで「来場者への対面案内」や「口コミ」による小規模な周知に留まっていたが、本事業ではGoogle Ad Grantsの活用により、対象地域を東京を中心とした「首都圏全域」へ一気に拡大させる。また、事業規模の面では、これまでの「単発のイベント消費」から脱却し、参加者を「賛助会員(廃校管理支援者)」という継続的な支援基盤へと誘導する。従来の、一部の熱心なボランティアによる労働集約型の管理体制から、デジタル技術を用いた広域からの「小口多額」の資金循環モデルへ移行することで、関係人口の質と量を飛躍的に増大させる。これにより、廃校を拠点とした地域経済の自給率を抜本的に向上させ、活動規模を「維持」から「攻めの保全」へと拡大させる。

—

3. 申請事業の具体的な取組内容

取組 ①	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	里山文化暮らし体験プログラム	新規	8月 ~ 2月	小川町	小川小学校旧下里分校
	取組の目的<200字程度>				
	里山に伝わる知恵(発酵食品づくりや季節の活動等)を体験型コンテンツとして提供し、都市住民の「精神的充足」と地域への愛着を醸成することを目的とする。単なる観光イベントに留めず、参加者が里山の営みを維持する「当事者」としての意識を持つきっかけを作る。これにより、体験後の継続的な関係性を構築し、将来的な里山維持管理の担い手・支援者層を可視化する。				
	取組の内容<100字程度>				
	七味づくりWS、味噌づくりWS、しめ縄づくりWS等を候補とし、季節に応じた里山暮らし体験を月1回頻度で実施。地域の農家や専門家を講師に招き、廃校というノスタルジックな空間で「手仕事」を通じた交流機会を提供する。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計		事業収益見込額
	丁寧な暮らしや自然体験に関心のある都市住民	月 1回 × 6か月 = 6回	各回 10名 × 6回 = 60名		1名あたり 3,000円 × 60名 = 180,000円
従業社員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
1名	2名	4団体	小川町(施設利用サポート)、小川町観光協会(広報協力)、小川町商工会(広報協力)、小川高校(記録映像撮影)		

取組 ②	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	アニメ文化体験プログラム	拡充	8月 ~ 2月	小川町	小川小学校旧下里分校
	取組の目的<200字程度>				
	アニメ作品の舞台としての「聖地」という資源を活用し、若年層を中心としたサブカルチャー層を里山へ呼び込む。廃校でのコスプレ撮影や同人誌即売会等、作品への愛着を「この場所を守りたい」という場所への愛着へと変換することを目的とする。伝統的な里山保全とは異なる文脈から、新たな関係人口の層を開拓し、多角的な支援基盤を構築する。				
	取組の内容<100字程度>				
	校舎や校庭を活用したコスプレイベントや、作品ファンによる交流会、同人誌即売会を月1回実施。作品の世界観を尊重した運営を行い、ファンが廃校の維持管理を「自己実現の場の維持」と「自分事」として捉える参加型イベントを構築する。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計		事業収益見込額
	首都圏のアニメ・漫画ファン、コスプレイヤー	月 1回 × 6か月 = 6回	各回 20名 × 6回 = 120名		1名あたり 3,000円 × 120名 = 360,000円
従業社員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
1名	2名	4団体	小川町(施設利用サポート)、小川町観光協会(広報協力)、小川町商工会(広報協力)、小川高校(記録映像撮影)		

取組 ③	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	下里秋祭り	新規	10月 ~ 10月	小川町	小川小学校旧下里分校
	取組の目的<200字程度>				
	①の里山文化層と②のアニメ文化層、そして地域住民が廃校に一堂に会する「現代版の文化祭」を開催。異なる属性の参加者が交流することで、里山の多面的な価値を共有し、コミュニティとしての結束を深めることを目的とする。この祭りを「賛助会員(廃校管理支援者)」としての誇りを確認する場と位置づけ、年間を通じた関係性のピークを創出する。				
	取組の内容<100字程度>				
	収穫体験、地域の食ブース、アニメファンによる展示、活動紹介等を組み合わせた交流イベントを10月に開催。会員限定の特別体験やトークショー等を候補とした”コミュニティに属するメリット”を感じるコンテンツを盛り込み、未加入者への入会動機づけを最大化させる。				
	対象者		事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額
①②の参加者、地域住民、観光客		月 1回 × 1か月 = 1回	各回 300名 × 1回 = 300名	1名あたり 0円 × 300名 = 0円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
1名	10名	4団体	小川町(施設利用サポート)、小川町観光協会(広報協力)、小川町商工会(広報協力)、小川高校(記録映像撮影)		

取組 ④	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	賛助会員獲得用LP(ランディングページ)構築	継続	11月 ~ 2月	オンライン	オンライン
	取組の目的<200字程度>				
	Google Ad Grants等のWEB広告から流入した見込み客に対し、里山の魅力を各層の関心事(里山文化/アニメ文化)に合わせて最適化して伝え、オンライン上で「賛助会員」への入会を完結させる仕組みを構築する。単なる情報発信で終わらず、イベントの熱量をそのまま継続的な支援(月額寄付等)へと接続する「デジタルの窓口」として機能させ、非対面でのファン獲得を強化する。				
	取組の内容<100字程度>				
	「里山暮らし」と「アニメ聖地」の2つの切り口で、各ターゲットに刺さる訴求を行う専用WEBサイト(LP)を各1件制作。入会フォームとの連携、活動内容の可視化を行い、24時間365日の集客・会員獲得体制を整える。				
	対象者		事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額
首都圏関係WEB広告流入者、イベント参加後のリピーター候補		月 30回 × 4か月 = 120回	各回 100名 × 120回 = 12000名	1名あたり 0円 × ##名 = 円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
1名	0名	1団体	Google(NPO向け活動支援プログラム提供)		

取組⑤	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	取組の目的<200字程度>				
	取組の内容<100字程度>				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
		月 回 × か月 = 0 回	各回 名 × 0 回 = 0 名	1名あたり	円 × 0 名 = 円
	従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)	
	名	名	団体		

4. 申請事業の目標

事業全体の目標				
No.	目標	目標値	測定方法	
1	事業全体参加者数	480名	参加申込み数の計測	
2	イベントからの賛助会員新規申込み数	50名	イベント参加者氏名による会員申込み数測定	
3	ランディングページからの賛助会員新規申込み数	100名	イベント参加者以外の会員申込み数測定	
4	イベントからの賛助会員新規申込みの加入率	10%	No.1及び2の比率計測	
5	ランディングページクリック数からの賛助会員新規申込みの加入率	0.80%	LPページビュー数とNo.3の比率計測	
各取組の成果指標				
No.	取組名	目標	目標値	測定方法
取組①	里山文化暮らし体験プログラム	里山体験を通じた、継続的な地域支援者(関係人口)の創出	延べ参加者数 60名	各イベントの参加申込者名簿による実数計測
取組②	アニメ文化体験プログラム	アニメ聖地としての認知を活用した、新規支援層の開拓	延べ参加者数 120名	各イベントの参加申込者名簿による実数計測
取組③	下里秋祭り	多様な来場者が一堂に会する交流機会の創出とコミュニティ活性化	来場者数 300名	会場入口でのカウンターによる来場者数計測
取組④	賛助会員獲得用LP(ランディングページ)構築	デジタル技術を活用した、広域からの賛助会員(寄付者)の獲得	新規賛助会員獲得数 100名	入会申込みによる実数確認
取組⑤	0			

5. 申請事業の実施に向けた課題とその解決のための取組・工夫等

課題①	具体的な課題	ボランティアや一部スタッフの善意に頼った管理体制により、安定的な事業運営と施設維持が困難な点。
	課題解決のための取組・工夫	「地域の便利屋」的な無償労働から脱却するため、本事業を通じて「賛助会員」という安定財源を確保し、適切な対価を支払える「プロの管理人(有償スタッフ)」による管理体制へ移行する。また、インターンシップ等の外部若手人材を積極的に登用し、定款に基づいた多角的な事業を「ファン獲得」という共通目的のもとに再編・効率化することで、スタッフの業務負荷軽減と専門性の向上を同時に図る。
	目標	ボランティアに依存しない、有償スタッフによる持続可能な施設管理体制の構築。
課題②	具体的な課題	従来の地縁や口コミによる広報では、里山維持に貢献する意欲の高い「首都圏の現役世代」に情報が届かない。
	課題解決のための取組・工夫	Google Ad Grants(月額最大1万ドルの検索広告枠)をフル活用し、東京を中心とした首都圏の「精神的充足」や「サードプレイス」を求める層へダイレクトに情報を届ける。里山文化に関心がある層と、アニメ聖地に関心がある層のそれぞれに最適化した2種類の広告・LP(ランディングページ)を運用することで、一過性の観光客ではなく、当法人の理念に深く共感する質の高い関係人口を効率的に集客する。
	目標	デジタルマーケティングによる、首都圏広域からの安定的な新規集客ルートの確立。加入率の検証
課題③	具体的な課題	関係人口の「資産化」(一過性の交流で終わらせない仕組み)
	課題解決のための取組・工夫	「イベント参加」をゴールにせず、参加者をオンライン・オフライン両面で「賛助会員(廃校共同管理者)」へ誘導するCRM(顧客関係管理)を導入する。具体的には、イベント当日の熱量を活かした入会案内や、LP経由の月額寄付決済システムを確立する。里山の風景や廃校の維持を「自分事」として捉えてもらうための会員限定特典(特別な体験や活動報告)を用意し、精神的充足という対価を提供することで、継続的な収益基盤を作る。
	目標	イベント参加者の10%程度を継続的な支援者(賛助会員)へ転換させる仕組みの実装及びオンライン経由での賛助会員入会導線の検証・確立

6. 3年後(2029年度)、法人がどのように成長しているか<300字以内>

2029年度には、本事業で構築した「里山自給経済モデル」が確立し、外部資金に頼らず自立的に里山を守り抜くプロフェッショナルな運営組織へと進化している。具体的には、賛助会員数が1,000名を超え、安定した会費収入により常勤の施設管理人を雇用できる体制が整っている。これにより、廃校の適切な維持管理と、地域課題解決への機動的な対応が両立されている。また、デジタルマーケティングと里山体験を融合させた当法人の運営手法は「下里モデル」として県内外の自治体から注目され、全国の廃校利活用や関係人口創出の先駆的事例として、コンサルティングや視察受け入れを通じた新たな収益の柱も構築できている。

収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 霜里学校
 事業名 鹿校を拠点とした「自走運営」モデルの構築と関係人口の資産化事業

1. 収入の部					1,314,200							
項目		予算額(円)			積算内訳							
a.助成金交付申請額		500,000			※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります							
b.自己資金		34,200			※自動計算							
c.事業実施による収入等		780,000			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)	参加費	(該当する事業)	事業1	180,000	3,000	円	×	10	人	×	6	回
(収入の内容)	参加費	(該当する事業)	事業2	360,000	3,000	円	×	20	人	×	6	回
(収入の内容)	新規賛助会員費(事業期間の半分4か月を入会期間と仮定し、1名600円/月にて計算)	(該当する事業)	共通経費	240,000	2,400	円	×	100	人	×	1	回
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
d.その他		0			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

2. 支出の部					1,314,200							
項目		予算額(円)			積算内訳							
a.会場費		0			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
b.通信運搬費		0			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
c.旅費交通費		0			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

d.消耗品費				120,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	里山文化暮らし体験プログラム WS消耗品費(米・大豆他)	(該当する事業)	事業1	30,000	30,000	円	×	1	式	×		
(支出の内容)	アニメ文化体験プログラム イベント消耗品費(会場装飾用部材費他)	(該当する事業)	事業2	30,000	30,000	円	×	1	式	×		
(支出の内容)	下里秋祭り 消耗品費(文具他)	(該当する事業)	事業3	30,000	30,000	円	×	1	式	×		
(支出の内容)	事務用品費(プリンターインク代・文具類他)	(該当する事業)	共通経費	30,000	30,000	円	×	1	式	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
e.備品費				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
f.委託費				200,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	LP制作費(ページ内デザイン・コーディング等)	(該当する事業)	事業4	200,000	100,000	円	×	2	式	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
g.謝金				30,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	外部講師謝金	(該当する事業)	事業1	30,000	10,000	円	×	3	式	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
h.人件費				931,200	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	里山文化暮らし体験ディレクター	(該当する事業)	事業1	345,600	1,800	円	×	32	時間	×	6	ヶ月
(支出の内容)	アニメ文化暮らし体験ディレクター	(該当する事業)	事業2	345,600	1,800	円	×	32	時間	×	6	ヶ月
(支出の内容)	秋祭りイベントディレクター	(該当する事業)	事業3	72,000	1,800	円	×	20	時間	×	2	ヶ月
(支出の内容)	会員管理アシスタント	(該当する事業)	共通経費	168,000	1,200	円	×	20	時間	×	7	ヶ月
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
i.その他				33,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	トランシーバーレンタル代	(該当する事業)	事業3	33,000	3,300	円	×	10	台	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		